



日付 2018年11月24日

ISO/TC 176/SC 2事務局

(品質マネジメントシステム規格国内委員会事務局訳)

第43回ISO/TC 176/SC2アゾレス会議(2018年11月19～23日)に関するコミュニケ

ISO/TC 176/SC2の第43回会合は、ポルトガルの国家標準化団体であるポルトガル・ポルトガル国立標準化機構(IPQ)が主催し、ポルトガルのアゾレス州ポンタ・デルガダのアゾレス大学で開催された。



アゾレス大学

当該SCには現在、Pメンバー:81、Oメンバー:18、リエゾンメンバー:44が参画している。



会議参加者

ISO 9001の2015年版を発行して以降、当該SCは他の主要規格の改訂活動に焦点をあてている。

ISO 10006（品質マネジメントプロジェクトにおける品質マネジメントの指針）の改訂は、2017年11月に最終国際規格案（FDIS）の段階を完了し、69票の承認、2票の不承認、11票の棄権を得て承認され、2017年11月に第3版として発行された。SC2は改訂作業を担当したWG（ワーキンググループ）27の主査、幹事及びエキスパートに感謝の意を表し、WG27を解散した。

ISO 9004（品質マネジメント—組織の品質—持続的成功を達成するための指針）の改訂は、2018年2月にFDIS段階を完了し、70票の承認、0票の不承認、13票の棄権を得て承認され、2018年4月に第4版として発行された。SC2は改訂作業を担当したWG25の共同主査、幹事及びエキスパートに感謝の意を表し、WG25を解散した。

ISO 10005（品質マネジメントシステム—品質計画書の指針）の改訂は、2018年5月にFDIS段階を完了し、74票の賛成、0票の不賛成、11票の棄権を得て承認され、2018年6月に第3版として発行された。今回の会議では、プロジェクトレビュー報告書を完成させるとともに、追加のケーススタディや品質計画書の事例を作成し、SCのホームページ <https://committee.iso.org/tc176sc2> に掲載された。会議の最後に、SC2は改訂作業を担当したWG26の主査、幹事及びエキスパートに感謝の意を表し、WG26を解散した。

SC2は、規格開発プロジェクトに加えて、ISO 9001における潜在的な曖昧さを明確にするために、会員団体に解釈サービスを提供しており、これはWG22を通じて管理している。最近、ISO 9001:2015に対する初の解釈となった2件をSC2ウェブサイト公開し、3件目の解釈は現在投票中である。

SCの戦略計画・業務タスクグループ（SPOTG）は、SCの作業の概要を説明するためにアゾレスで2回の会合を開催した。当該グループは、主に各WGの活動とそのプロジェクトを調整する役割を担っている。規格開発プロジェクトの多くが完成した現在、SPOTGは、将来必要とされることの戦略的レビューに向けて検討を進めている。SPOTGは、戦略計画の策定へのインプットを提供するために、SC2の規格の使用をどのように測定すべきかなど、多くのタスクを自ら設定した。また、SC2の作業をISO/TC 176事業計画の展開と整合させる方法を検討する必要がある。

全てのISOマネジメントシステム規格の主要な課題は、ISO/IEC専門業務用指針 附属書 SL 共通テキスト（High Level Structure）の登場である。これは、マネジメントシステム規格間の整合性を改善し、組織がより容易に自身のマネジメントシステムを統合できるようにするもので、附属書 SLを担当するグループ（ISO/TMB/TAG13JTCCG、又はJTCCG）は、昨今、その限定的な改訂を開始し、この作業を担当するタスクフォース（TF14）を設置することに合意した。JTCCGの活動を支えるSC2アドホックグループ（AHG03）は、アゾレスで会合を開き、改訂活動へのインプットを提供する最善の方法を検討し、SC2からの代表者をTF14に提案した。この活動は、より長期的なものとなる可能性が高いことに留意し、SC2はAHG03を新しいタスクグループ（SC2/TG01）に移行することを合意した。2020/2021年頃には、附属書 SLの改訂が完了する見込みである。

会議では、ISO 9001・ISO 9004を始めとする主要規格の大幅改定を通して、当該委員会を運営してきた、現SC2議長Nigel Croft氏（イギリス）が、9年間の在職を終えて辞任することに言及し、同氏の益々の活躍を祈念した。新議長には、Paul Simpson氏（イギリス）が就任する。

また、会議では、Wu Tian氏（中国）の共同幹事退任についても言及された。長年に亘る貢献への謝辞と、同氏の益々の活躍を祈念した。

総会期間中の活動は、ホストやそのスポンサーであるIPQ（Instituto Portugue da Qualidade）、アゾレス政府、アゾレス大学、ポンタ・デルガダ市役所から提供された、優れた施設と素晴らしいおも

てなし無しには達成できなかった。Graça Batista教授、Jose Carlos Damaso氏、Aida Diogenes氏を始めとする、支援チームのすべてのメンバーに感謝の意を表す。

SC2の次回会合は、ISO/TC 176と共同で2019年11月3日～8日にバルバドスで開催される予定である。

Charles Corrie

ISO/TC 176/SC2国際幹事(BSI)